

中村とおる市議会議員活動報告 2018年 秋



この議会活動報告の作成に関する経費は、政務活動費を充当しております。



10月10日農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会で市営姫神実験牧場の放牧状況を視察してまいりました。今年度、短角牛の成牛56頭、子牛47頭が「夏山冬里方式」で放牧されています。年々飼育頭数が減少しており、市の補助事業があっても、減少を食い止めることができていない状況です

早いもので今年もあと2ヵ月あまり、秋から冬へと移行行く季節となつてまいりました。今回の「もっす」通信は、6月、9月議会の一般質問等や行政視察等の一部を掲載しております。

*いつも「もっす」通信をご覧頂きましてありがとうございます。お困りごとや市政への要望・意見などがございましたら、お気軽にお寄せください。

「私の質問項目」をピックアップ。

6月議会では◎市長の政治姿勢について◎新元号への対応について◎公文書管理について◎情報公開について◎市民提案箱について◎労働政策について◎福祉政策について

9月議会では◎市政運営(圏域の法制化、障がい者雇用の実態、職員の看護休暇制度の拡充、公共施設や普通教室へのエアコン設置)◎子ども・子育て支援について◎AI機能機器導入について



上記写真は愛媛県松山市の中央公園内にある「坊ちゃんスタジアム」です。この公園は、松山市最大のスポーツエリアで、サブ球場の「マドンナスタジアム」をはじめ、プール、武道館、テニスコート、多目的競技場などの施設設備となっていました。スタジアムの施設規模は、グラウンド両翼 99.1mセンター122m外野天然芝、最大収容人員 3 万人で、屋内練習場やブルペンを完備、プロ野球キャンプ地、公式戦から少年野球まで年間を通じて試合が行われています。盛岡市でも盛岡南公園内に県と連携して野球場の建設計画が進行中ですが、規模や建設コストや維持管理コストなどのほか、冬季間のグラウンド利用が難しいという点など、課題があると思います。視察先で私が質問しましたが、維持管理費と使用料収入の関係では、維持管理費が増嵩しており、唯一黒字の施設は屋内練習場だそうです。それは、幼稚園や保育園などの団体から運動会を開催する申し込みが多く、雨天でも延期せず実施できるからだそうです。



4月にソウル特別市で研修の機会があり参加してまいりました。もちろん公務活動費は充当しておりません。ソウル市の労働政策が非常に興味深い。



労働尊重特別市、自治体として初めて、市政全般において労働問題を政策化、社会・経済的ニ極化の是正、持続可能な発展に向け、ソウル市が他に先駆け取り組んでいます。公共部門が非正規職の正規職化となり、民間部門に拡散させる意図があります。ソウル市の施設管理、公園緑地、掃除、施設警備の業務委託勤労者を直接雇用その後、正規化の公務職に転換を図り、2018年時点で9,366人の正規職化が完了している。日本では、公務部門が民間へ業務委託が進行していますが、非正規職労働者が増え続けている状況において、労働者が安心して働き続けられる環境づくりは、盛岡市としても労働政策を打ち出す必要があります。私も6月議会で非正規職化から正規職化について取り上げましたが、特に公園や街路樹の維持管理はもっと直営の職員を増やして適切に管理する体制が必要です。

新元号への対応は？

質問を要約 新元号への対応について、盛岡市でも情報システムは新元号に合わせて改修する必要があると思われます。証明書などに昭和や平成などの和暦を記しているためであり、改修が遅れると西暦と和暦のシステムを接続する際などに障害が起きる可能性があります。例えば税を納めても納税記録が残らなかったり、住民票を発行できなかったりする可能性があるかとされています。さて、盛岡市では新元号への対応や、どのようなシステム改修が必要でしょうか。また、その財源は地方交付税措置がされるのでしょうか。これを契機に西暦表記に移行を考えている行政文書についてはどうでしょうか。

答弁を要約 新元号について、全庁で50を超える情報システムにおいて改修が必要と考えております。それに伴う具体的なシステム運用や所要財源に対する地方交付税などの財源措置について、現時点では国から示されていないことから、国の動向を注視しつつ、必要に応じて岩手県市長会などを通じ、働きかけを検討してまいりたいと存じます。改元に際し、システム画面や出力帳票、内部データを新元号に対応したものに変更するほか、新旧元号の運用等についても改修が必要になる場合があるものと認識しているところであります。なお、現段階では漢字2文字、アルファベットの頭文字の重複なし、即位日以降にシステム画面、帳票等を新元号に対応と仮定して検討を進め、改修スケジュール等について円滑に移行できるよう判断してまいりたいと存じております。次に、改元を契機として西暦表記に移行を考えている行政文書についてであります。本市におきましては、行政手続で使用する書類や証明書などは元号での表記を原則としている一方、一部の計画書においては元号と西暦の併記を行っているところであります。

私のつぶやき 新元号への対応は。行政側にも多くの財政負担を招きます。こうしたシステム改修等について、やはり国が責任をもって地方交付税等によってしっかりと財源措置を講ずるべきと思うのですが……

市民提案箱について

質問を要約 市民提案箱についてですが、市へのよくある質問コーナーで、「市民の提案箱とはどのようなもので、どう処理されるのですか」という質問に対し、回答は、「市民の提案箱は市政に関する皆さんの建設的な御提案や御意見を幅広くお聞きするため、市内20カ所と市公式ホームページに設置しているもので、回答が必要な場合には市長から回答します」とありますが、この間に寄せられた市民の提案や意見については、市政運営でどのような成果をもたらしているのでしょうか。確かに提言や意見の中には、関係機関と協議を有するものや、システム上難しいもの、事業費が嵩むもの

などもありますが、寄せられた提言の中にはわずかな予算で対応できるものもあったと見受けられます。今後予算執行上、差金等が発生した場合、その一部を原資として、補正等の対応で市民提案箱事業として幾つかの案件を実施してみてもとありますが、見解は。

答弁要約 市民提案箱について、寄せられた件数は、平成 28 年度 189 件、29 年度 165 件、その内容は提案、要望、意見、苦情、相談など多岐にわたっており、関係各課と情報共有しつつ、迅速かつ適正に、誠意を持って対応しております。具体的な成果は、28 年度以降の事例となりますが、経年劣化で薄くなった道路の区画線の引き直しや、歩行者の通行に支障があった街路樹の剪定、伐採、公共施設のトイレ整備やくず入れの設置など、可能な限り改善につなげてまいりました。次に、幾つかの案件を市民提案箱事業として実施してみてもどうかについては、提案には予算措置を必要とするものもありますことから、関係各部において提案の趣旨、内容を具体的に精査し、優先度や効果を見きわめることが必要と存じますが、議員御提案の予算執行上の差金等を財源として補正予算に計上することも一つの方策かと存じておりますので、提案者の意向を尊重し、一つでも多くの提案が実施されるよう努めてまいりたいと存じます。

私のつぶやき 市民の提案箱の意見には、行政側が気づきづらいところを敏感に感じ取っての声も多くあり、執行予算残(差金)が生じた場合に安易に次年度繰越とせず、少額の予算で改善できる提案事業については、行政側としても市民の声に答えるべきだとの思いで質問いたしました。

質問 盛岡市の障がい者雇用の実態と今後の職員採用に関わる障がい者雇用の考えは。

答弁を要約 平成30年6月1日現在、市全体で法定必要人数56人に対して、雇用人数は61人となっております。市長部局は法定必要人数39人に対して44人、教育委員会は、法定必要人数11人に対して11人、上下水道部、市立病院ともに法定必要人数3人に対して雇用人数3人となっており、法定雇用率は達成しております。当市においては、採用及び任用時に障害者手帳を、療育手帳及び誠進障害者保健福祉手帳の写しの提出により確認しており、不正算入はありません。障害者の雇用の考えについては、これまでの身体障がい者に区和え、知的及び精神障がい者も対象とした特別枠の採用試験を行っているほか、非常勤職員の任用につきましては、障がい者の方々のニーズにあわせた申幅広い雇用の場を確保するためとして、「障がい者の非常勤職員名簿登録制度」を活用した任用を行っております。今後も引き続き障がい者雇用の場の確保に努めてまいります。

私のつぶやき 法律で行政や民間企業に法定雇用率の義務を課し、民間企業が守れない場合は罰則金を国に納めることになっており、行政側には罰則は無い、だからこそ官庁等が法定雇用率を守ることが原則なのに。



上記写真は鳥取市役所のエレベーターのドア面。「まちの活性化対策特別委員会」の行政視察で10月18日には鳥取市シティプロモーション事業について研修してきました。「住みたい田舎」ランキングで総合1位を獲得した鳥取市は、「住みたい街」のランキング上位の吉祥寺でポスターを掲示。鳥取市での田舎暮らし体験プログラムをPRするためにあえて都会の方々へ「満員電車ってどんな感じですか?」とか「待機児童ゼロなので待機ストレスもゼロ」など18種類のポスターを作成し、体験から定住(U・J・I・ターン)に結びつけていく政策の一端。



「すごい! 鳥取市」のキャラクター(スゴ! ウサギ)のイーくん郵便ポスト!



上記写真は集約化する計画を見直し、児童センター単独で整備する飯岡小学校の北側予定地。

9月議会での全員協議会で、昨年の飯岡地区地域懇談会での市長の答弁も踏まえ、建設前の児童への対応や設計に関して児童の保護者や就学前の保護者の意見を聞く場を設けること。更に本会議最終日の会派討論でも、保護者の意見を聞く場を再度要請しました。



上記写真右側は津志田下飯岡線の歩道整備予定箇所です。私が議会の場で片側歩道しか作られず、児童生徒が遠回り通学している現状を取り上げ整備を要望。先頃、契約業者も決まり、11月から着工し、2月中に完了する見込みとなりました。



上記写真は市民文化ホールの階段。私は、総務常任委員会の決算審査で市民文化ホールから階段で降りる際に段差でケガをされた事例を取り上げ早期再発防止策を要請した。

学校のエアコンや公共施設のエアコン設置について

質問 公立小中学校の普通教室のエアコン設置率は、1998年は3.7%でしたが、2017年の調査では49.6%にまで上昇しています。現在、国は「学校施設環境改善交付金」としてエアコンの設置には3分の1の額を補助しており、文部科学省の来年度概算要求では、施設整備費を3.5倍2400億円盛り込む方針であり、危険なブロック塀の改修、撤去費用の補助拡充や教室への空調設備の加速、トイレの様式化の改修促進を図ろうとしている。だが、そうは言っても、学校の全ての教室に一斉にエアコンを導入するためには短期間に多額の予算を計上しなければならず、しかも設置と同時に、多額の電気料金の長期的な負担も生じることになり、このことが、エアコン設置の障壁となっていると思う。自治体内だけでなく国において教育環境が公平に保障されるべきであり、エアコン設置の都道府県格差は、国の問題でもあることから、国からのより積極的な支援が必要。盛岡市として補助率の拡充も含め、積極的に国や県への働きかけが必要と思うが、見解は。今後の取り組みとして、夏休み期間の変更、普通教室等のエアコン設置について、具体策は。また、勤労福祉会館等も含め会議室使用料を頂いている施設において、未だエアコン未整備の会議室等に対するエアコン整備について、具体的考えは。

答弁を要約 エアコン設置のための財源確保は、全国的な課題となっておりますことから、文部科学省に対して、7月には全国都市教育長協議会、8月には中核市市長会及び全国市長会を通じて、要望しているところであります。夏休み期間の変更については、暑さ対策として有効と考えておりますことから、他自治体の状況を調査の上、期間の在り方について検討してまいりたい。現在、教室への扇風機と保健室へのエアコン設置を進めているところであります。できるだけ早く設置を完了したい。未だエアコン未整備の会議室等に対するエアコン整備について、公民館のうち飯岡地区公民館、乙部地区公民館、見前地区公民館、好摩地区公民館、薮川地区公民館、体育施設は8施設があります。勤労福祉会館を含め大規模改修や長寿命化にともなう改築等の際にエアコン設置を検討してまいりたい。

私のつぶやき 秋の臨時国会では、国の補正予算案として学校施設環境改善交付金の増額をし、危険なブロック塀の改修、撤去費用や教室への空調設備の加速を図ろうとしておりますが、補助率3分の1では今までどおり自治体負担を招き、二の足を踏むのではないかと。今回詳細を載せませんでしたでしたが、そのほか、私が再三要望している不妊治療への助成額の拡充やインフルエンザ予防接種の補助拡充と対象範囲の拡大、現在、増加傾向の風しん予防接種を妊産婦の同居家族への新規助成する考え、子ども総合支援センターの職員体制の増員を要請、AI機能機器導入に関する総合計画への位置づけなどを9月議会で質問をさせていただきました。